

StarOs ノードによって簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) で報告される StarOs 「ThreshFabricEGQDiscards」エラーを解決して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

[解決策](#)

[自動リカバリーメカニズム](#)

概要

この資料にファブリックおよびストレージカード (FSC) カードを解決する方法を時「ThreshFabricEGQDiscards」SNMPトラップ記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- StarOs
- ASR5500 プラットフォーム

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

問題

エラー「ThreshFabricEGQDiscards」はとき ASR5500 シャーシの 1 FSC カードのファブリック

エッジ (FE) チップセットの Single Event Upset (SEU) 注意されます。 FE 表のこのビットフリップが原因で、 FE 半導体素子は出力キュー破棄を引き起こすカード間のハートビート障害の原因となるファブリックによりの破損した パケット (セル) に開始します。

Command Line Interface (CLI) コマンド `show snmp` **トラップ履歴詳細表示**を使用するとこの問題の例を表示できます。

```
Sat Jan 02 03:59:30 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 9 device
2 threshold 50 measured value 2430 interval 30
Sat Jan 02 03:59:30 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 9 device
1 threshold 50 measured value 2096 interval 30
Sat Jan 02 03:59:40 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 5 device
4 threshold 50 measured value 481 interval 30
Sat Jan 02 03:59:40 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 4 device
2 threshold 50 measured value 3761 interval 30
Sat Jan 02 03:59:40 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 4 device
1 threshold 50 measured value 3660 interval 30
Sat Jan 02 03:59:40 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 5 device
2 threshold 50 measured value 173 interval 30
Sat Jan 02 03:59:40 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 5 device
1 threshold 50 measured value 133 interval 30
Sat Jan 02 03:59:42 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 8 device
2 threshold 50 measured value 2977 interval 30
Sat Jan 02 03:59:42 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 8 device
1 threshold 50 measured value 4310 interval 30
Sat Jan 02 03:59:44 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 3 device
1 threshold 50 measured value 4499 interval 30
Sat Jan 02 03:59:44 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 3 device
2 threshold 50 measured value 4091 interval 30
Sat Jan 02 03:59:45 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 10 device
1 threshold 50 measured value 2796 interval 30
Sat Jan 02 03:59:45 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 10 device
2 threshold 50 measured value 5418 interval 30
Sat Jan 02 03:59:47 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 1 device
2 threshold 50 measured value 4747 interval 30
Sat Jan 02 03:59:47 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 1 device
1 threshold 50 measured value 5243 interval 30
Sat Jan 02 03:59:49 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 7 device
2 threshold 50 measured value 4644 interval 30
Sat Jan 02 03:59:49 2016 Internal trap notification 523 (ThreshFabricEGQDiscards) slot 7 device
1 threshold 50 measured value 5017 interval 30
```

この行は複数のカード CPU コンソールの下で見られます:

注: コマンド **デバッグ コンソール カード**は [隠れましたり/test コマンド](#)。このコマンドはまた ASR5500 のすべてのカードのためにサポートは StarOs ノードで詳細 コマンド動作することを示しなさい時毎回集められます。

```
***** debug console card 1 cpu 0 tail 10000 only *****
Saturday January 02 05:45:38 EST 2016
[...]
2016-Jan-02+03:59:47.479 card 1-cpu0: afio [1/0/2701] [2862193.674]
afio/afio_petrab_egress.c:121: #1: petrab=1=1/1, PetraB EGQ Egress drop threshold exceeded, drop
count=5243, interval=30 secs, threshold=50
```

トラブルシューティング

出カドロップが増分しているかどうか確認して下さい。

注: ファブリック エラーがおよび増分すればバージョン リリース 19.0 の StarOs ノードを実行していますまたはより高いそれからこの技術情報の Solution セクションに進んで下さい。

注: ファブリック エラーがおよび増分すれば StarOs ノード バージョンうなり声バージョン release.19.0 を上げます TAC の方のサービス Reuquest を実行しています。

ステップ 1.テストモードを開始して下さい、ここに[ドキュメント](#) StarOs ノードでそれを有効にする方法をです。

```
cli test-commands [encrypted] password password
```

呼び出します。 ファブリック健全性をチェックして下さい。

```
show fabric health | grep -i -E "^Petra-B|EGQ"
```

問題がない場合の出力例:

```
[local]#show fabric health | grep -i -E "^Petra-B|EGQ" Petra-B 1=1/1
Petra-B 2=1/2
Petra-B 3=2/1
Petra-B 4=2/2
Petra-B 5=3/1
Petra-B 6=3/2
[...]
```

EGQ 廃棄パケットの increese 見るところ出力例:

```
[local]#show fabric health | grep -i -E "^Petra-B|EGQ"
```

```
Petra-B 1=1/1
```

```
EGQ.RqpDiscardPacketCounter 1143278
```

```
EGQ.EhpDiscardPacketCounter 1143278
```

```
EGQ.PqpDiscardUnicastPacketCounter 1143278
```

```
Petra-B 2=1/2
```

```
EGQ.RqpDiscardPacketCounter 1068491
```

```
EGQ.EhpDiscardPacketCounter 1068491
```

```
EGQ.PqpDiscardUnicastPacketCounter 1068491
```

```
[local]#show fabric health | grep -i -E "^Petra-B|EGQ"
```

```
Petra-B 1=1/1
```

```
EGQ.RqpDiscardPacketCounter 1346022 <<<
```

```
EGQ.EhpDiscardPacketCounter 1346022 <<<
```

```
EGQ.PqpDiscardUnicastPacketCounter 1346022 <<<
```

```
Petra-B 2=1/2
```

```
EGQ.RqpDiscardPacketCounter 1271360 <<<
```

```
EGQ.EhpDiscardPacketCounter 1271360 <<<
```

```
EGQ.PqpDiscardUnicastPacketCounter 1271360 <<<
```

解決策

自動リカバリー メカニズム

動作の種類変更:

余分なファブリック 出力廃棄を検出する上で FSC オート回復/リセットされたプロシージャを有効にする新しい CLI コマンド

導入されるリリース:

19.0

古い動作:

FSCs をリセットする手動リカバリ プロセス。

新しい動作:

新しい CLI 設定コマンドは、[ドキュメント](#)をチェックします:

ファブリック fsc オートリカバリはこの機能を有効にすることを最大値試み <X> が可能にします。
。最大値試みはそれが各 FSCs をリセットする回数です。デフォルトで、最大値試みは無制限です。
。

この機能をディセーブルにするファブリック fsc オートリカバリ ディセーブル。

afctrl fsc 自動リカバリ ディスプレイにまだリセットされ、リセット数、最大試み、出力ドロップしきい値状態 FSC オート リカバリ デバイスを含む FSC オート リカバリについての詳細を、履歴示して下さい。

注意：顧客の影響: FSC FE デバイスはリセットされ、飛行中のどのパケットでも失われません。

注: 履歴を除くすべての値は縮小が失敗するとき複製されます。